



小島 智恵 議員
(政風クラブ)

問

少子化による町内の高校存続を見据え、町は道教委に道立幕別高校と私立江陵高校の統合を要望し、6月6日、公立高校配置計画で「幕別高校は江陵高校が募集停止となること等考慮し、平成31年度に2学級増の3学級とし、31年度入学者から江陵高校の校舎を使用」、「学科は検討中」と再編統合に係る計画案が示された。しかし、要望していた「1学年4学級」は叶わなかった。再編統合により、実質的には新設高校が予定され、以下の点について伺う。

- (1)経過と現状。
- (2)今後の見通し。新しい学校名や江陵高校からの教員採用は。
- (3)魅力ある高校になるため町の支援は。

教育長(1)平成27年に中学校の保護者などで組織する「幕別町後期中等教育を考える懇話会」を設置し検討いただいていた。懇話会の報告書を受け、町と教育委員会が

問 道立幕別高校と私立江陵高校の統合(新設)への地域の願いは叶わないのか

答 高校配置計画で3間口が決定、今後は道教委・両高校・町の連絡会を設置し協議を進める

検討を行い、今年2月、江陵高校に対し高校の再編等について要請を行い、3月に「同意する」との回答をいただいた。4月に道教委へ出向き、2校の再編統合に関する4点の事項について要望を行った。8月には、改めて「1学年4学級の高校とすること」、「全日制普通科単位制の高校とすること」、「学校運営協議会制度の導入」の3点に絞り再度要望書を提出した。さらには、町内各種団体連名の要望書を商工会会長が代表して、幕別高校同窓会・同校PTAおよび江陵高校同窓会・同校PTA連名の要望書を幕別高校同窓会会長が代表し、道教育長に手渡し、町民の思いを伝えていただいた。

(2)9月5日、公立高校配置計画が決定され、「幕別高校は、江陵高校が募集停止となること等を考慮し、平成31年度に2学級の増、31年度入学者から、江陵高校の校舎を使用」、「学科については全日制普通科」と示された。今後は、道教委が中心となり、幕別高校内に



再編統合となり使用される
江陵高等学校 校舎

準備委員会を組織し、具体的な検討を進めて行くことになる。江陵高校からの教職員の採用については、私立高校の正規教員として教職経験が4年以上あれば、一般選考検査の第1次検査(教養検査)が免除となる。江陵高校の多くの教員はこの制度を利用し、選考検査を受検予定と聞いている。

(3)現役のオリンピッククアスリート5人を生んだ土壌や両高校の伝統、特徴を生かした多様な教育課程の編成など、本町の特色を生かした魅力ある学校づくりに向けて、道教委、幕別高校、江陵高校

および町の4者の連絡会を設置し、具体的な協議を進めていく。魅力ある高校づくり推進事業補助金をはじめ、スクールバスの運行、学校給食の提供、コミュニティスクールの導入など町と連携しながら検討していきたい。

問 海外資本等による森林や土地買収を防止する町の条例を進めるべき

答 国の責任において法整備を進めるべき

問

平成28年の北海道における海外資本等による森林取得事例調査では、買収された森林や土地は509haと統計史上最大となった。水資源や安全保障など大変懸念される中、以下の点について伺う。

- (1)海外資本等の買収について町の見解、町内の状況は。
- (2)売買情報、チェック体制。条例化など規制は。

町長

(1)海外資本等が買収した大規模な取引事例はないと認識している。国民の暮らしを守ることが国の責務。水源を保全するため、国において必要な制限を設けるべきと考える。

(2)国土の保全や国家安全保障の観点から、国の責任で法の整備を進めるべきものと考えている。